

文化会館で新潟県文化祭開幕イベント

新潟県文化祭開幕イベントが8月28日、上越文化会館で行われ、参加してきました。県の文化祭参加は初めてです。花角知事が挨拶し、中川市長なども来賓としてよばれていました。

知事の挨拶が終わってからは、新潟県にゆかりのある人たちによる芸能です。たっぷりと楽しませてもらいました。

上越で開催となれば、やはり、上杉おもてなし武将隊です。力が入った演武でした。そして三和区岡田の春駒、初めて観ました。上越には素晴らしい郷土芸能がいくつもありますね。

このあとは音楽のオンパレードです。地元の小川エリさんがトップバッター、「来ないや上越」「線香花火」などで観客を魅了しました。私の前の席にいた小さな女の子がイスの上で跳びはねて喜んでいました。レディス4の女性グループの歌は初めて聴きました。歌はうまいし、セクシーでほれほれしました。アニソンシンガーの石田燿子さん、アコーディオンのcobaさんが出演されることは会場で知りました。力強さに圧倒されました。

今回は歌だけでなく、「しゃべり」にも惹きつけられました。とくにエリさんとcobaさん、上越のことや新潟を愛する人ならではのトークに酔いしれました。



4回目のワクチン接種を27日、柿崎ドーム会場でやってみました。私は今回も集団接種でしたが、極めてスムーズな流れとなっていて驚きました。

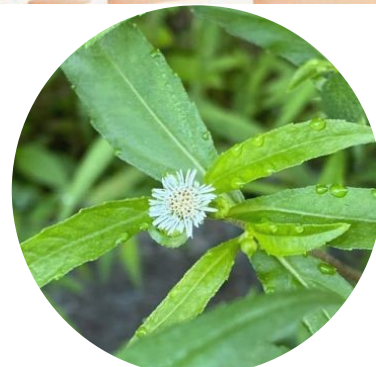
4回目のワクチン



9月定例議会の日程 (いずれの会議も開始時間は午前10時)			
日(曜)	会議名	場所	備考
9月1日(木)	本会議	議場	議案提案、総括質疑
9月2日(金)	本会議	議場	総括質疑
9月5日(月)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月6日(火)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月7日(水)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月8日(木)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月9日(金)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月12日(月)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月13日(火)	総務委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月14日(水)	総務委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月16日(金)	一般質問	議場	
9月20日(火)	一般質問	議場	
9月21日(水)	一般質問	議場	
9月22日(木)	一般質問	議場	
9月27日(火)	本会議	議場	議案採決

9月定例議会が1日から始まりました。今議会は決算議会です。昨年度に上越市が取り組んだ事業の総括がメインです。事業は前市長のもとで取り組まれたものがほとんどですが、今年度も引き続き実施されているものが多いですので、課題や問題点を

明らかにし、今後にかかしていくことが大切です。今議会ではこのほか、県の原油価格・物価高騰対応事業などを活用した事業費、融雪などで被災した農林業施設の復旧工事などに必要な経費など約26億8000万円の一一般会計補正予算なども審議されます。



【タカサブロウ】(再掲)キク科の一年草。漢字で「高三郎」と書きます。側溝など湿気の多いところにあります。草丈は20cm~70cm。花期は8月~9月です。花は円盤状で、そのまわりを舌状花が囲みます。花の色は白です。茎を折ると黒ずんだ液が出ます。花言葉は「いつかきっと」。写真は8月29日、吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2075 2022.9.4
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たる記」はこちら

 橋爪法一 検索

春よ来い

第七二二回

眠り続ける母

入院している母と約一か月ぶりに会える、そう思っていたので病院へ行く前日の日曜日の夜はうれしくて、よく眠れませんでした。

ところが当日の午前10時半過ぎ、市役所で仕事をしているときに病院のスタッフの方から電話がかかってきたのです。スタッフからは、「エツさんはここ三日間ほど食事がとれてなく、点滴をしています。これからMRI検査を行います。検査結果は、こられたときにお知らせします」と言われました。そして、「二年前の心臓手術以外で金属が入っているところはないでしょうか」と質問されました。

じつは、この日は母の退院にむけて家での食事をどうするか、介護をどうするかを看護師さん、栄養士さんなどから指導していただくことになっていました。

当初の予定と違った展開に、「ひよっとすると、脳梗塞がまた発生したか、大きくなった脳内の動脈瘤が破裂したかも知れない」そう思い、母との再会についての期待が一気に不安に変わりました。

病院側と約束した時間は午後二時からでした。長女とともに病棟のナースセンターに行くこと、「まずは医師から説明します」ということで、ナースセンター脇の部屋で担当のお医者さんから説明をしていただきました。

担当のお医者さんは、「新たなことがわかりました」と言って、七月二十九日に入院した当時の画像とその日の午前撮ったばかりのMRI画像を比較しながら、脳梗塞を起こした部分が大きく広がっていること、覚醒をつかさどる場所についても、白くなってしまうことなどについて丁寧に説明してくださいました。

びっくりしましたね。午前の電話では、「三日間ほど食事をとれず、点滴している」と知らせていただいたのですが、まさか

か、母が三日間も眠り続け、呼びかけても反応がない状態になっているとは思いませんでした。

今後の治療について、お医者さんからは、「一週間ほど点滴しても目がさめなかった場合、その時点でもう一度相談させてください」と言われました。端的に言うと、延命治療についてどうするか相談したいということでした。

一か月ぶりに母と会えば、「とちや、来てくんたが。何かうんめもん、持って来てくんたか」と笑顔で話してくれるにちがいない。そう期待していただけに、お医者さんの説明を聴き、私はがっくりしてしまいました。

お医者さんの説明を聴いてから、長女とともに、ベッドに寝ている母のところへ行きました。母の顔色は悪くありませんでしたが、完全に眠ったままです。「ばちや、とちやだよ、来たよ。一緒に家に帰ろさ」

「ばちや、オレだよ、頑張つてくんない」私は何度も母の頭をなで、声をかけました。長女も母の手を握り、声をかけ、励ましました。でも、母の目は開くことはありませんでした。手にも反応はありません。そばに看護師さんがおられたのですが、涙がこぼれそつになりました。

担当のお医者さんや看護師さんによると、母は意識がなくなる数日前に大きな声で私や家族の名前を呼び、家に帰してほしいと必死になって訴えたとのこと。そのとき、母のそばにいてやれば、どんなに母は喜んだことでしょう。

母が眠り続けてまもなく一週間になります。「眠っているようでも耳は聞こえていますよ」という方が何人もおられます。今度、母に会った時には、牛飼時代の思い出や母の得意料理のことを書いた私の随想を読んで、聴いてもらおうと思つます。

直江津屋台会館に巨大な夕日写真設置



直江津うみまちアートのメイン会場である屋台会館に大きな夕日の写真が新たに設置されました。直江津海岸は夕日が美しい場所ですが、雨や曇りの時はこの大型写真パネルが人気です。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月24日(水)	8月31日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.067	0.057
東頸消防署	0.047	0.040
名立分遣所	0.050	0.057
高士分遣所	0.053	0.047

下黒川地区夏祭り、にぎやかに



8月21日、柿崎区下黒川地区の夏まつりに行ってきました。下黒川小学校児童の大鼓演奏、ピアスの歌、竹灯り、花火等があり、賑やかでした。イラストは大湊、柿崎、吉川の頸北太鼓グループの演奏風景です。